

おうちのかたへ

ご入学おめでとうございます。入学式もすみ、お子さんも元気に小学校へ通われていることと思います。

子どもは字が読めるようになってからも、大人に本を読んでもらいたがります。たどたどしく文字を追いつながらでは、内容を心から楽しむことが難しいからです。幼児から小学校低学年にかけては、子どもが本を好きになるかどうか分かれる大切な時期です。どうぞ、5分でも10分でもお子さんに本を読んであげてください。

図書館では、専門の職員がどんな本を読んだら良いのかなどの相談にも応じています。お気軽にどうぞ。



TO:  
1年生になったあなたへ

FROM:  
へきなんしみんとしょかん

# おはなし会

図書館では絵本の世界を楽しんでいただけるように、絵本・紙しばいの読み聞かせなどを行う「おはなし会」を定期的開催しています。ぜひ、お越しください。

- 本館 毎月第2・4土曜日  
10:30~  
碧南市鶴見町1-70-1 41-0894
- 南部分館 毎月第4日曜日  
10:30~  
碧南市塩浜町7-135 42-8211
- 中部分館 毎月第3土曜日  
10:30~ 41-1980  
碧南市源氏神明町2

『いちねんせい』Eワ・イ  
谷川 俊太郎(詩) 和田 誠(絵) 小学館

「せんせいが こくばんに  
あと かいた  
あ びっくりしてるみたい  
せんせいが こくばんの  
あ をさした  
あ おおきなくちで  
うたってる  
せんせいが こくばんの  
あを けした  
あ つまんない  
あ だいすき  
あ またあおうね」  
いちねんせいになったみんなのまいにちがし  
になっているえほんです。



『すてきな三にんぐみ』Eウ・ス  
トミー=アンゲラー(作)  
いまえ よしとも(訳) 偕成社  
あらわれでたのは、くろいマント  
にくろいぼうしの三にんぐみ。お  
どしのどうぐをつかって、つぎつぎにおたからを  
ちょうだい。ところが、あるばんのえものは小さな  
おんなのこジェニファーちゃんだけ。



『王さまと九人のきょうだい』Eア・オ  
君島 久子(訳) 赤羽 末吉(絵) 岩波書店  
むかし、ちゅうごくに子どものほ  
しいおじいさんとおばあさんがい  
ました。ある日ふしぎなろうじん  
から九つぶのくすりをもらったお  
ばあさんが、それをのむといちど  
に九人の子どもがうまれました。



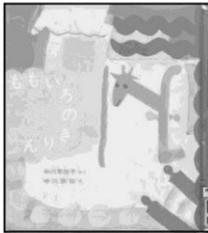
『はははのはなし』Eカ・ハ  
加古 里子(文・絵) 福音館書店  
「は」がいたいとおとなでも  
ないてしまいます。そんなにい  
たむなら、「は」なんかなければ  
いいとおもいませんか?ところが  
「は」がなくなるとたいへんなことになります。  
「は」ってとてもたいせつなんです。



『100万回生きたねこ』Eサ・ヒ  
佐野 洋子(作・絵) 講談社  
100まんかいしんで、100  
まんかいいきたねこがいました。  
100まんにんの人がそのねこ  
がしんだときになきました。でも  
ねこはちっともかなしくあり  
ませんでした。



『ももいろのきりん』913ナ・モ 福音館書店  
中川 李枝子(作) 中川 宗弥(絵)  
おかあさんから、とてもお  
おきなももいろのかみをも  
らったるこは、おおきな  
きりんをつくることにしま  
した。そのきりんにおおき  
な口をつけたら、きりんがはなしはじめました。



『せんたくかあちゃん』Eサ・セ  
さとう わきこ(作・絵) 福音館書店  
せんたくがだいすきなかあ  
ちゃん。かあちゃんはなんでも  
たらいにいれてゴシゴシあら  
ってしまいます。おちてきた  
かみなりさままでゴシゴシあ  
らってしまいます。すると…。



『しずくのぼうけん』Eブ・シ 福音館書店  
マリア・テルリコフスカ(作) うちだ りさこ(訳)  
ポフダン・ブテンコ(絵)  
バケツから水がひとしずくこぼ  
れました。しずくはたびにでか  
けます。まずはきれいになろう  
とせんたくやさんにむかいます。しずくのへんか  
がおもしろいえでかかれています。



『ごきげんなすてご』913イ・ゴ  
いとう ひろし(作) 徳間書店  
「おとうとなんてだいきらい! わた  
たしは、りっぱなすてごになって、  
すてきないえにもらわれていくんだ」  
そうけっしんして、すてごになった  
わたしですが、なかなかひろってくれるひとがいま  
せん。わたしはすてきないえにいけるのでしょうか。



『しょうたとなっとう』619シ ポプラ社  
星川 ひろ子・星川 治雄(写真・文)  
小泉武夫(原案・監修)  
おじいちゃんとダイズのたね  
をまいたしょうた。ダイズが  
いろいろなたべものになるこ  
とをしりました。しょうたの  
きれいな「なっとう」にもなるときいて…。



『どうながのプレッツェル』Eレ・ド 福音館書店  
マーガレット・レイ(文) H・A・レイ(絵)  
わたなべ しげお(訳)  
プレッツェルはどうながのダック  
スフンド。みんながプレッツェル  
をほめるのに、だいすきなグレタ  
だけは「どうながなんてきらい」  
といひます。グレタのきをひこうと…。



『あたしもびょうきになりたいな』**【Eブ・ア】**  
 ブランデンベルグ夫妻（作・絵）  
 ふくもと ゆみこ（訳） 偕成社  
 おとうとのエドワードがびょうきになりました。かぞくみんながエドワードのせわをやきます。おねえさんのエリザベスはそれがおもしろくありません。「あたしもびょうきになりたいな」とおもいます。



『おじさんのかさ』**【Eサ・オ】**  
 佐野 洋子（作・絵） 講談社  
 おじさんは、とってもりっぱなかさをもっていました。でかけるときは、いつもかさをもってでかけました。でも、あめがふってもおじさんはかさをさしません。かさがぬれるからです。



『エルマーのぼうけん』**【933ガ・エ】**  
 ルース・スタイルス・ガネット（作）  
 ルース・クリスマン・ガネット（絵）  
 わたなべ しげお（訳） 福音館書店  
 エルマーはあるとき、としをとったのらねこから、かわいそうなりゅうのこのはなしをききました。りゅうのこをたすけるために、エルマーはだれにもないし



『きかんしゃやえもん』**【Eオ・キ】**  
 阿川 弘之（文） 岡部 冬彦（絵） 岩波書店  
 やえもんはとしをとったきかんしゃ。「びんぼうきしゃ」とからかわれたやえもんは、おこってひのこをはきながらはしり、たんぼのわらにひをつけてしまいます。おこったおひやくしょうさんたちは…。



『ふしぎなナイフ』**【Eフ】**  
 中村 牧江・林 健造（作）  
 福田 隆義（絵） 福音館書店  
 ふしぎなナイフが、おれたり、きれたり、ねじれたり、まがったり…。よくにているけれど、ちがうことがえからわかります。字の少ないえほんです。



『おへそのひみつ』**【Eヤ・オ】**  
 やぎゅう げんいちろう（作） 福音館書店  
 おなかのまんなかにある「おへそ」。かみなりさまにおへそがとられるってほんとうかな？おへそをいじるとおなかがいたくなってなるはなしはほんとうなの？ そんな「おへそ」のきもんにこたえてくれます。



『しろいうさぎとくろいうさぎ』**【Eウ・シ】**  
 ガース・ウィリアムズ（文・絵） まつおか きょうこ（訳） 福音館書店  
 しろいうさぎとくろいうさぎが、ひろいもりにすんでいました。にひきはなかよくくらしていましたが、あるときくろいうさぎが、かなしそうなかおをしました。かんがえごとをしていたからです。



『じごくのそうべえ』**【Eタ・シ】**  
 田島 征彦（作） 童心社  
 かるわざしのそうべえは、つなわたりのげいのさいちゅうに、つなからおちてしんでしまいました。えんまさまのおさばきで、じごくにいったそうべえは…。らくごをもとにした絵本です。



『さんねん峠』**【Eバ・サ】**  
 李 錦玉（作） 朴 民宜（絵） 岩崎書店  
 さんねん峠（とうげ）とよばれる峠がありました。この峠でころぶと3ねんしかいきられない、といわれているのでこうよばれていました。あるひ、ひとりのおじいさんがさんねん峠でころんでしまいました。



『もりのへなそうる』**【913ワ・モ】** 福音館書店  
 わたなべ しげお（作）  
 やまわき ゆりこ（絵）  
 あるひ、てつたくんとみつやくんはもりにたんけんにいきました。そこでしましまのおおきなたまごをみつけました。ふたりがみつけたたまごのしょうたいは、いったいなんだったのでしょうか？



『だいくとおにろく』**【Eア・タ】**  
 松居 直（再話） 赤羽 末吉（画） 福音館書店  
 ながれがはやくて、はしをかけることができないかわがありました。むらびとは、はなしあってむらいちばんのだいくにはしをかけてもらうことにしました。だいくがかわにいくと、おにがあらわれて…。



『ちいさいおうち』**【Eバ・チ】** 岩波書店  
 パーシニア・リー・パートン（文・絵） 石井 桃子（訳）  
 しずかないなかにちいさいおうちがたっていました。おうちはそこがだいすきでした。ところが、ある日おうちのまえにおおきなどうろができてまわりのようすがかわってきてしまいます。



『くんちゃんのはじめてのがっこう』**【Eマ・ク】**  
 ドロシー・マリノ（作） まさき るりこ（訳） ペンギン社  
 くんちゃんは、きょうからいちねんせいです。はりきってがっこうにいきますが、じがよめないし、かけません。けいさんもできません。くんちゃんはこわくなって、ドアがあいたすきに、にげだしてしまいました。



『こぎつねコンとこだぬきポン』**【Eフ・コ】**  
 松野 正子（文） 二俣 英五郎（画） 童心社  
 つばきやまにすんでいるこぎつねのコンと、すぎのきやまにすんでいるこだぬきのポンにはともだちがいません。「ともだちいないかな」とポンがさがしていたら、きれいなうたごえがきこえてきます。



『はちうえはぼくにまかせて』**【Eグ・ハ】**  
 ジーン・シオン（作） マーガレット・プロイ・グレアム（絵）  
 もり ひさし（訳） ペンギン社  
 なつやすみに出かけるよていがないうトミーは、りょこうに出かける人のはちうえをあずかることにしました。大きくなったはちうえのせいでいえはジャングルのようになってしまいます



『モチモチの木』**【Eタ・モ】** 岩崎書店  
 斎藤 隆介（作） 滝平 二郎（絵）  
 まめたはよむむしです。よなかにしょうべんがしたくなると、じさまにつれていってもらくらい。あるばん、まめたはじさまのうなりごえでめをさましました。じさまははらいたをおこしたのです。まめたは…。



『スーホの白い馬』**【Eア・ス】** 大塚 勇三（再話）  
 赤羽 末吉（画） 福音館書店  
 モンゴルに「ばとうきん」というがっきがあります。「ばとうきん」には、ひとりのしょうねんとうまとのゆうじょうのものがたりがあるので。それは、いったいどのようなものがたりなのでしょう？



『しっぽのはたらき』**【Eヤ・シ】** 福音館書店  
 川田 健（文） 藪内 正幸（絵） 今泉 吉典（監修）  
 どうぶつのくらしかたのちがいで、しっぽのはたらきもかわってきます。どうぶつたちが、どんなふうにしっぽをつかっているかわかりやすくてあります。



『てがみをください』**【Eム・テ】**  
 やました はるお（作） むらかみ つとむ（絵） 文研出版  
 てがみがほしくてかえるは、「てがみをください」とだれかにてがみをかきました。ぼくはかえるに「へんじはきたの？」とたずねますが、へんじはきません。あるひ、かえるがいなくなり、ぼくはきがつかました。



『ぼくは王さま』**【913テ・ボ】**  
 寺村 輝夫（作） 和田 誠（絵） 理論社  
 王さまがすきなものはたまごやき。そんな王さまにあかちゃんがうまれました。そのおいわいのごちそうはたまごやき。でもくにじゅうのひとがくるのにたまごがたりません。ゆかいな王さまのおはなし。

